

専門分野Ⅱ 成人看護学 授業計画

授業科目及び時間数	成人看護Ⅳ 1単位 15時間		
開講時期	2年次 前期		
担当教員	黒川みゆき	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>成人看護学では、成人期の特徴を踏まえ成人期の健康障害を持つ対象のおかれた状況（経過）に応じた看護が展開できる能力を養うことを目標としている。</p> <p>成人看護Ⅳでは、回復期看護について学ぶ。回復期とは、「疾病や外傷、手術などによって生命の危機的状況にある急性期から脱し、身体の治癒過程が回復に向かって進行している時期」である。この時期は、健康状態としてはほぼ良好であるが、まだまだ不安定であり、合併症や二次的障害を予防しながら社会復帰への準備をする時期である。本授業において、回復期における対象の特徴を理解し、この時期に必要な看護について学ぶ。また、実践に向けて「脳・神経機能障害」のある対象への看護についても学んでいく。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーション看護の考え方 <ol style="list-style-type: none"> 1) リハビリテーション看護の概念と目的 2) リハビリテーション看護の実際 2. リハビリテーションを必要とする人の特徴と理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) リハビリテーションを必要とする人の身体的特徴 2) リハビリテーションを必要とする人の生活上の特徴 3) リハビリテーションを必要とする人の心理的特徴 (障害の受容過程、危機理論、自己概念・自尊感情・ボディイメージ) 4) リハビリテーションを必要とする人の家族の特徴 	講義	
2回目	<ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーションを必要とする人への看護援助 <ol style="list-style-type: none"> 1) 身体機能維持・回復を促す看護援助 2) 障害を負った人の心を支える看護援助 3) 日常生活行動の再獲得を支援する看護援助 4) 生活の再構築を支える社会資源の活用 	講義	
3回目	脳・神経機能障害のある対象への看護① (脳梗塞・くも膜下出血・脳腫瘍・髄膜炎) 構造と機能・疾患	グループワーク	
4回目	脳・神経機能障害のある対象への看護②	グループワーク	
5回目	脳・神経機能障害のある対象への看護③	グループワーク	
6回目	脳・神経機能障害のある対象への看護④	グループワーク	
7回目	脳・神経機能障害のある対象への看護⑤ まとめ	講義	
8回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 100%		
受講生に対するメッセージ	成人看護Ⅳは、3年次の成人看護学実習Ⅱに繋がる授業である。学んだことを実習で活用できるよう、積極的に授業に取り組んで欲しい。		
テキスト	成人看護学 リハビリテーション看護論 スーヴェルヒロカワ 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳・神経 成人看護学⑦ 医学書院		
参考書	病気がみえる 脳・神経 メディックメディア		